



2024年(令和6年)

5号

生駒市立桜ヶ丘小学校

サクショウクエスト

今年の桜ヶ丘小学校の運動会の第何回は次のうちどれでしょう。※正解は次号にて

A 第44回 B 第55回 C 第33回

※前号のこたえはC 隣教室との壁です。

全国学力・学習状況調査

—国語・算数編—

4月18日(木)に第6学年の児童を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査(国語、算数)と質問調査の結果がWebで学校に公表されました。

本校は、平均正答率が、国語で全国より6.3ポイント、奈良県より7ポイント、算数で全国より8.6ポイント、奈良県より9ポイント高く、両教科共に全国及び奈良県より高い結果となりました。

国語科では、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる(言葉の特徴や使い方に関する事項)」「(全国より18.5ポイント高い)や「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる(話すこと・聞くこと)」「(全国より12.8ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となり、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること(話すこと・聞くこと)」や「人物像を具体的に想像すること(読むこと)」が課題と言えます。国語について、

「国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか」及び「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、

物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか」の質問に当てはまる、どちらかといえば、当てはまると答えた児童の割合も全国より少し下回っていることから、これらのことができるようにする指導の充実が求められます。

算数科では、「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる(A数と計算)」「(全国より18.6ポイント高い)や「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる(Dデータの活用)」「(全国より15.4ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となり(いずれも記述式の問題形式)、「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる(Dデータの活用)」や「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している(B図形)」が課題と言えます。「円グラフから必要なデータを読み取ること」及び「円周の長さを直径の長さの何倍になるか見通しをもつこと」ができるように指導することが大切になります。

